

パソコン環境及び電源管理について

電子機器（パソコン）において、気温10度以下や結露が発生する時期は機械内部に悪影響を与えます。

またハードディスクの内部温度は40度から50度になります。真夏におけるノートパソコンは内部に温かい空気が籠ります。ノートパソコンの内部に風を与えるかしてクールダウンに努めてください。

MBCが社内環境に注意している点

「夏季」

パソコンにフリーソフトの温度管理ソフトを入れ、常時監視しています。グリーンサインからオレンジやレッドにサインが変わったらPCをクールダウンさせます。

「冬季」

朝6時ごろから暖房（エアコンまたはFF暖房機）が働くようにタイムセットします。PCや複合機の結露対策とPC稼働環境づくりです。冷たくなった電子機器は結露が発生しやすいです。サッシに例えると判るかと思います。

「通年」

1、家庭内及び会社内の電圧は85～110ボルトの範囲内で上下いたします。複合機など大きい電力や外部及び内部環境により常に変動しています。この対策には**無停電電源装置（UPS）**を使って常時安定した電圧または停電によるハードディスク損傷を防御しています。

2、UPSや通信機器（ハブ、PCのコンセント外し（完全に電源供給断状態））を切断して帰宅しております。アースの無いオフィスや機器に溜まった静電気を放電することを目的としています。調子が悪くなるPCを出来るだけ避ける為には、事前に対策することを奨めます。テレビみたいですが、完全に**電源供給断**にしておけば落雷時の被害も少なくなり、外部からのアクセスは絶対不可能です。

自動車同様、パソコン、複合機など過酷な環境で運用されますと寿命が縮まります。いくら性能が良く丈夫なPCでも、使っている部品は消耗品です。

朝、寒いオフィスでは、PCをスリープ状態で帰宅されても良いかと思います。翌日には温まったオフィス環境下でPCを再起動してください。